



神奈川・レスキューサポートバイクネットワーク 会報第18号

KANAGAWA Rescue Support Bike Network News

2003年10月1日号, No.18

第18号の目次

- 1、8都県市合同防災訓練参加 (2003.9.1)
 - 2、バイクの日イベントレポート(2003.8.19)
 - 3、日々は単車 ...辻谷圭
- 編集後記

8都県市合同防災訓練に参加

2003.9.1



9月1日。防災に関わるものにとっては特別な日であるこの日に、各地で防災に関する様々なイベントが催される。神奈川RBも昨年に続き8都県市合同防災訓練に参加した。8都県市

合同防災訓練とは首都圏の地方公共団体の相互援助協定に基づき行われる大掛かりな訓練だ。8都県市とは、東京、神奈川、埼玉、千葉の4県に横浜、川崎、千葉、さいたまの政令指定都市4市を加えた総称である。

毎年行われており、今年の神奈川県会場は相模原市であった。今年の被害想定は神奈川県、央東地区にマグニチュード7規模の地震が発生。震度は6強。相模原市を中心に甚大な被害が発生。というものであった。

今回の訓練における神奈川RBに課された任務は、埼玉県、千葉県より、厚木市にある神奈川県総合防災センターに運び込まれた救援物資を相模原市淵野辺にある今回の主会場まで搬送するというもの。

以下は、メイン会場である相模原市在住の池田氏による参加レポートです。

8都県市合同防災訓練レポート

池田 喜由

国道129号を走るRB16台



関東、東海に大地震が来るのは確実である。それも近い将来に発生する可能性が年々高くなる。現代の人類の力では、残念ながら天災は防ぐことはできない。しかし、被害を最小限に食い止めることは可能だ。実際

の災害の発生状況は、どんな周知に行った訓練とも、あらゆる点で異なったものであるに違いない。

しかし訓練は、その対処に当り大きな力を発揮する。

そんな思いで、今年の8都県市合同防災訓練は平日ではあったが、年に一度のことと休暇を取り、所属するバイクボランティア団体(神奈川RB)の一員として訓練に参加した。神奈川のメイン会場が地元の相模原市淵野辺公園と言うこともあり、何時もより全てが身近に感じる訓練であった。

千葉からの救援物資が到着



今回神奈川RBが担当したのは、千葉県トラック協会が千葉県から厚木の総合防災センターへ運んできた救援物資を(訓練)被災地である淵野辺公園(メイン会場)へ運ぶものだ。

平日にも関わらず16台のバイクが7時半、搬送開始場所の厚木総合防災センターに集まった。バイクは様々だが、全員神奈川RBの赤いゼッケンを着け並んだ姿は壮観で凛々しくもある。

少し遅れて到着した千葉県トラック協会の運んできた荷物を手際よく荷台に縛りつけ、2組のバイク搬送隊は、整然と隊列を組み互いに無線で状況を連絡し合いながら(訓練)被災地へ向かう。

神奈川県総合防災センターを 出発

これは実践でも使えると確信した

。平日の混雑もあり、メイン会場の淵野辺公園にはプログラムの9時15分から遥かに遅れて、10時過ぎに到着。会場運営本部に連絡。「予定のコースで入場可」との連絡。

16台のバイクは既に様々な訓練が実行中の訓練会場へ隊列を組み入場。待機場所に整列する。

会場内の風景

11:30分

神奈川RBの(訓練)被災地内訓練走行。

救援物資の受け渡しを実施。

関係者の拍手の中、車両待機



場所へ列を組んで退場。



本番では本日の訓練とは、全く違った状況を呈するであろうが、今日の実践は本番にも様々な応用できる筈と、本日の参加に大変満足感を持った。

.....他にも会員から感想など寄せられました。.....

辻谷 圭

昨年に引き続き、2回目の参加となりました。全体的に昨年の経験もあってか、RBとしてはスムーズに作業、移動が行えたと思いますが、物資の到着が遅れていたりと、「予定表通り」には進みませんでした。しかし、実際の被災地では、こうしたアクシデントはしょっちゅうと聞きますから、そうした事態への対応も経験できたことは、良かったのではないのでしょうか。今年は月曜日の開催であり、市内の渋滞は予想以上に激しく、また通勤通学時間と重なっていたこともあり、市民の皆様にもアピールできたでしょうか？

訓練会場は、ごんまりとされていたせいか、参加者が訓練の様子を身近に感じることが出来、単なる見せ物という以上の感覚を持って頂いていたのではないかと、感じました。また、私の仕事に関連したことで言えば、神奈川県歯科医師会が所有する歯科バス(車内に歯科診療設備を備えたバス)が、財政難及びディーゼル規制により廃止されようとしているとのこと興味深い事の一つでした。歯科分野の、「直接生命に関わりにくい」という認識があるかもしれませんが、過去の大災害では、顔面への負傷、ストレスから来る歯科疾患などへの対応もニーズとして多かったそうで、今ここでこのバスを無くすことが果たしてプラスになるのか、ということについても考えてしまいました。

神林 邦彦

私としては昨年に続き二回目の参加となった合同防災訓練でしたが準備会議から参加した者として一言。これだけ多くの団体・自治体が集う訓練に参加者の一員として加わったことは神奈川RBにとって、又私個人にとっても大いに意義があった事だと思います。訓練内容は年々改良され向上して行くと思いますので細かいことは省きますが懸念された平日(月曜日)の開催にもかかわらず多くの会員が多忙をやりくりして参加できたことは各関係機関や地域団体・住民にRBの存在を大いにPRできた事と、嬉しく誇りに思います。

「継続は力なり」をモットーにRBの一員として来年以降も出来る限り参加して行きたいと思えます。

後藤 猛

神奈川県内に越して来て、今回が初めての参加となりました。以前居住していた地方の防災訓練に比べ、規模の大きさ、参加者の多様さには驚かされました。今回の訓練の中で私が特



に注目した点は地域ボランティアの活動です。訓練を通して「自分たちには何が出来るか？」を確認することは重要です。いざ、大災害が発生した場合、行政による救助や支援活動だけでは限界があります。地域住民による自助努力とあいまって初めてキメ細かい活動が可能になると思います。

我々RBが地域活動にどれだけ貢献できるか？考える機会を与えて頂いた訓練でもありました。その意味で、RBの存在を広く一般の方々に知って頂くことは重要ですし、地域ボランティアの方々と同じ訓練に参加することは、とても意味のあることだと思います。

矢代 幸雄



神林副代表らが平日の多忙の中関係団体との打合せに出席していただき、今年も神奈川RBが緊急物資輸送訓練の一部を担当させていただけることとなった。私は昨年に引き続き光栄ながら先導を仰せつかる。しかし、昨年より距離が長い。途中信号等で隊列が分断される結果となったが実際は数名一組として行動することを考慮しそのまま分断した

まま淵野辺公園に向かう。

今回は前日のリハーサルにもほぼ全員が参加しているために各自でルート把握しているため、分断後も不安はなかった。訓練と銘打ってはいるが、公的機関と異なり私たちのような民間団体が訓練に参加する意味は公的機関の方々や他の民間団体の方々に神奈川RBを知ってもらうことが大きい。今回はスケジュールに打ち合わせと異なる部分があったようだが、全員から「実際はもっと混乱する、この程度の話のずれは無い」に等しい」との意見が出て非常に頼もしく思えた。

さて来年、神奈川のメイン会場はどこになるのだろうか。関係団体のみなさま、来年もよろしくお願ひいたします。

山田 泰

‘99年南足柄市、2001年千葉旭市、2002年小田原市に続き本年も9月1日の防災訓練に参加する事ができた。他の方々と同様ですが私の感想です。神奈川RBでは9/1相模原のメイン会場に14台のバイクで参加し無事終了した。我々の担当は厚木の総合防災センターから会場まで(約1時間の距離)救援物資を運ぶこと。早朝埼玉県、千葉県を出発した救援物資積載のトラックの到着を待ち、県の受け入れ完了とともに搬送物資を受領、出発した。前日、8/31の同時刻に実施したリハーサルは日曜であったため道路渋滞も無く快適であった。しかし、当日は月曜で激しい渋滞の中、急遽小人数2班編成とし、また予定ルートを変更しながらの走行となった。2班のリーダーが逐次無線で会話し、他メンバーの多くもこれを傍受、状況を把握しながら移動できた。現地では地元のボランティア活動で参加した神奈川RB加藤さんに会い、また前日夕方会場の設営状況の画像を配信してくれた宇波さんの奥様がわざわざ会いに来てくださった。

参加して良かったこと：

- ・前日リハーサルと2度の走行で普段なじみのない厚木 - 相模原間の土地勘が得られた。
- ・道路を熟知した先頭リーダーの道案内と無線誘導で不安のない走行が出来た。

最後に：今回、平日にも拘わらず16台もの参加を得ました。4月から平日に実施された県との打合わせに出席し、準備した皆さんの気持ちの現れでしょう。リーダーには負担をかけますが毎年参加することで多くの方々に神奈川RBの存在を知ってもらい、新たな活動へのきっかけにしたいと思います。参加した方々、応援してくれた皆さんご苦労様でした。

バイクの日 イベント参加報告

2003.8.19

山田 泰

8月19日は「バイクの日」。

MFJ、全国2輪車安全普及協会など2輪車業界が数年前から講演会などを実施していましたが皆さんご存じでしたか？



今年、東京大手町ではこの「バイクの日」イベントとして「知っていますか？災害ボランティア・バイクの使命」が開催され、ビジネス街のサラリーマン&ウーマンに呼びかけを行いました。神奈川RBは企画を請け負った

企業から千葉RB岡田さんに協力要請があったことから今回初めてこれに参加することとなった。さらに岡田さんからの依頼で神奈川RBでは手塚事務局長が対応した。今年の企画はバイクの社会的貢献を前面に打ち出し、「災害時のバイク活用」に以前から情熱を持って活動されている「坂井さん」が係わっておられ、今後全国的な展開があるかとも思った。記憶のある方もいるかも知れませんが、坂井さんは1998年11月神奈川県で2輪販売店を中心に災害時のバイクボランティア組織を立ち上げた方です。その後埼玉県でも同様、組織を立ち上げました。

さて、主な参加団体は「災害ボランティアバイクネットワーク埼玉」そして関東ブロックRB（千葉、埼玉）。また奈良RB平井さんが神戸被災の経験とその後のバイクボランティア経験者として参加された。

内容は「災害ボランティアバイクネットワーク埼玉 坂井さんによる活動の紹介と、4隊約15台のバイクでの東京駅、その他近隣地区を目標とした情報収集訓練



実施、災害時のバイクの有用性が話された。また、2台のトライアルで障害物越え、安全な走行法などのデモが実施された。

平井さんからは自宅被災経験とその後、家族の食料確保のためにバイクが役立ったこと、他の人たちの苦勞を見てバイクボランティア活動を始めたことが紹介

された。

左から千葉 岡田氏、奈良 平井氏、埼玉 谷内氏

RBの活動について千葉RB岡田さん、埼玉RB谷内さん、奈良RB平井さんから最近の活動、参加した動機などが紹介された。



また、日本橋消防署のバイク隊2台が参加し、バイク展示とともにインパルス放水銃の試射を行い見学者にその威力を見せた。

RBブースでは千葉、埼玉、神奈川RBのパネル展示。

・千葉 RB の災害活動用リ



フト付きトラックおよび各隊員のバイク展示。

RBのブース

RB活動紹介チラシの配布（400

枚制作、150枚配布。）を行った。

会場で会った方々（RBに関心を持っていただいている方）

- 神奈川県二輪車安全普及協会 理事長 中山 博 さん
- 埼玉県二輪車安全普及協会 専務理事 坂井 豊治 さん
- 災害ボランティアバイクネットワーク埼玉 副本部長 神谷 忠さん
- 同 矢島 文夫 さん（東福寺エンタープライズ）
- rescuenow.net 取締役 田口 幹也 さん
- (株) 青鞥社 代表 内藤 忍 さん

... .. 個人的な感想... ..

今回、同様の目的を持つグループがお互いの活動を知ることが出来たことは良かったと思う。この発想をした企業の佐藤さん、また、要請を受けた千葉RB岡田さん、神奈川RB窓口の手塚さんが前向きに対応されたことを感謝したいと思います。そして有給休暇を取って参加した各RBの皆さんご苦労様でした。

! ! !

会員から

エッセイ・日々は単車

辻谷 圭

2度目の大学進学をした昨年、私の生活はやたらと慌ただしい。手帳を開けばどの月にも、大なり小なりのイベントがびっしり、まるで完売御礼の新築マンションの様に、ほとんどの升目は文字で詰まっている。その中に、所々赤いペンでなぞった升目がある。この意味ありげな赤枠、実は家族や親しい友人の誕生日を忘れないようにつけた私なりの目印なのだが、卒業前の研修や授業に忙殺された8月は、唯一あった赤枠を危うく忘れ去ってしまうところだった。この赤枠の主は、まるで閑取の様な太鼓腹がご自慢？の、58歳を迎える父である。医療分野の研究者である彼は、週の大半を全国各地への出張に費やし、私

が中学生になる頃から、顔を合わせることも、会話をする時間も減っていた。また、彼の不規則な生活パターンに付き合うことに私自身ウンザリとし、決して悪い親子関係ではないのだが、悪態をつくことがごく最近まで続いていた。そんな彼がこのところ、口癖のように言うのだ。『バイクに乗ろうかなあ』と。そろそろ定年という言葉が現実味を増し、老後の趣味でも見つけようとしているのだろうか。そう呟いては、どこでどう教育し間違えたのか、4台も5台もバイクを集めてしまう姉妹の愛車をしげしげと眺めては、かつての颯爽とした思い出に浸っている様子である。しかし、娘にしてみれば、(自分のことは棚に上げ)そんな巨体の下敷きになる愛車の姿を想像すると、いたたまれなくなってしまうのが正直なところなのだが・・・。

以前から、父がバイクの免許を所持していることは知っていたが、どのような車種に乗り、どんな楽しみ方をしてきたのかは全く聞いたこともなかった。しかし、バイクという現在の私にとって一番の興味事である分野に、そんな彼の知られざる一面を垣間見たことは、好奇心を高鳴らせるのに十分だ。

ある日のこと。

このところ研修で家を空けることが多く、それまでほぼ毎日乗っていた愛車のカバーを、片手に余るほどしか外していなかったのだが、この状況を見て、父が『代わりに乗ってやろうか?』と言いついたのである。彼の下心は見え見えだが、私は鍵を渡した。

『あ!ヘルメット!』。鍵を受け取り、よしよし、とシートを跨いだ彼は、そのまま走り出そうとするのだ。そう、彼の若かりし頃は、今と違ってヘルメットの着用は任意であったと聞く。早速私のヘルメットを貸すも、人並み外れた体格は頭部にまで及んでおり、頭の先っぽに、ちよん、と乗っかるだけだ。これで、一体どれだけのブランクが空いているのかを窺い知ると、愛車のシートを譲るのに不安を覚える。だが、それ以上に、残念そうな彼の表情に、同情している私がいいた。

ふと閃きを覚える。折しもその日は、例の赤枠をつつ越えたところ。私はその足でバイク用品店へ向かった。そして、お値段も重要なポイントだったのだが、デザインやら色やら、ありとあらゆる品を吟味し、ようやく彼のサイズに合う3Lサイズの、紅白のラインが入った黒いジェットヘルを選び出した。

夜、家族で近所の海辺に出来たビアガーデンに出かけ、夕涼み兼お誕生会を開いた。何しろ表現下手な日本男児の見本品である彼は、箱から出てきたプレゼントに、言葉少なく反応したが、笑みを押さえきれないその口元の歪みが、私にはおかしくしょうがないのと同時に、彼なりの表現なのだと思えた。

それから数週間経った現在。件のヘルメットはまだ箱の中にしまわれたままだし、今日も彼は何処かへ出張に行っているらしく、週末も帰宅しないようだ。私も卒論という最大課題が迫り、現実逃避もいかに減諦めねばと思いつつも、彼の乗車を控えている愛車達をもう少し綺麗にしておこうかななどと、空いている目はないか手帳を開いてみる。私にとって彼は、父親として、人生の先輩として、また同分野の研究者として、追いつくことのできない大きな存在である。だが、まだ足腰の立つうちにツーリングにでも行って、少しは成長したところを見せてやりたい、とひそかな野望を抱く今日この頃だ。

部屋を満たす風は、すでに秋の薫り。

【その他のイベント】

緊急ミーティング 7/27 (宮城地震対策会議)

運営ミーティング 8/3

ボランティアのための救護法研修会・7月、8月、9月

・・・!!お知らせ!!・・・

神奈川R B携帯電話用サイト開設中

<http://k.excite.co.jp/hp/u/krpkrb/>

(I-mode/J-sky/EZwebの各形式対応)

編集後記

冷夏の後の猛烈な残暑。季節が入れ替わったかのような今年の夏はあつと言う間に過ぎて行きました。

この間、私には日本国より赤いチケットが下錫されました。

とはいえ、涼を求めて、メーターを注視しながら2日掛りのツーリングに行ってきた。

信州、斑尾高原は残暑の中でもさわやかで早くも秋を感じさせてくれました。

今年は日照不足で、お米はあまり良くなさそうですが、秋野菜、魚介類、キノコなど、美味しいものがたくさん出てくる季節です。最高のツーリングシーズン。皆さん、一緒に走りましょう。(O)

神奈川R B事務局

代表 井上哲也、事務局長 手塚則生

郵送先 :〒221 0835 神奈川県横浜市神奈川区鶴屋町2 24 2

かながわ県民活動サポートセンターレターケースNo.81

Fax :045-312-1862 (取次ぎ:レターケースNo.81宛て)

URL : <http://www2.airnet.ne.jp/krb/>

バイクによる災害時救済活動支援ボランティア

神奈川・レスキューサポート・バイクネットワーク会報(年4回発行)

発行者 :神奈川R B会報担当 太田隆行

神奈川R B会報発行にあたりまして、お好み焼き「おにがわら」様のご支援を頂いております。みんなで行こう!



関西風・広島風 お好み焼き おにがわら

店主 中島信義 山梨県北巨摩郡大泉村 Tel:0551-38-4030

J R 小海線甲斐大泉駅北約 1.5km・ダイヤモンド八ヶ岳ホテル前



夏季(7・8月) 11:30~14:30、17:30~20:30 (火・水定休、祝日は営業) 上記以外の期間 11:30~14:30、17:00~20:00 (火・水定休)

「おにがわら」は早くも秋

先日の斑尾ツーリングの途中、中嶋さんの手作りの味を楽しんできました。ポリウム満点、味も更にパワーアップしていました。